

新商品・化粧品シリーズ「=MR2(イコールエムアールツー)」

【フェイス・リム シリーズ終売後の新商品ご案内】の第2弾です。

ここに、新商品シリーズ「=MR2(イコールエムアールツー)」の特徴をコンパクトにまとめてお知らせ致します。

【コンセプト】

肌の角質、表皮、真皮それぞれが担う働きや、加齢とともに刻々と変化していく肌組織の状態に着目したスキンケアシリーズです。

肌の若さ、健やかさを保つために、失われていく成分を補うことに加え、マイナスに向かう肌の恒常性、機能を活性化し、正常な状態に引き上げることで、肌の自己活性を引き出していきます。

【ポイント】 表皮と真皮両方へのアプローチ

■ 表皮・角質ケア

- 皮膚常在菌を育成→肌の免疫が強化
- セラミドの増産→バリア機能が強化され、保水力がアップ
- 細胞の炎症を改善→肌の恒常性を維持します

■ 表皮・基底層ケア

- チロシナーゼ活性阻害→メラニンの生成を抑制します
- 細胞の活性化→新陳代謝を促進し、肌の老化を防止します

■ 真皮ケア

- コラーゲン劣化抑制→ハリと弾力を維持し、タルミを防止します
- ヒアルロン酸減少防御→シワを防止します
- 抗糖化→透明感を維持し、くすみを防止します

※糖化については裏面の説明をご覧ください

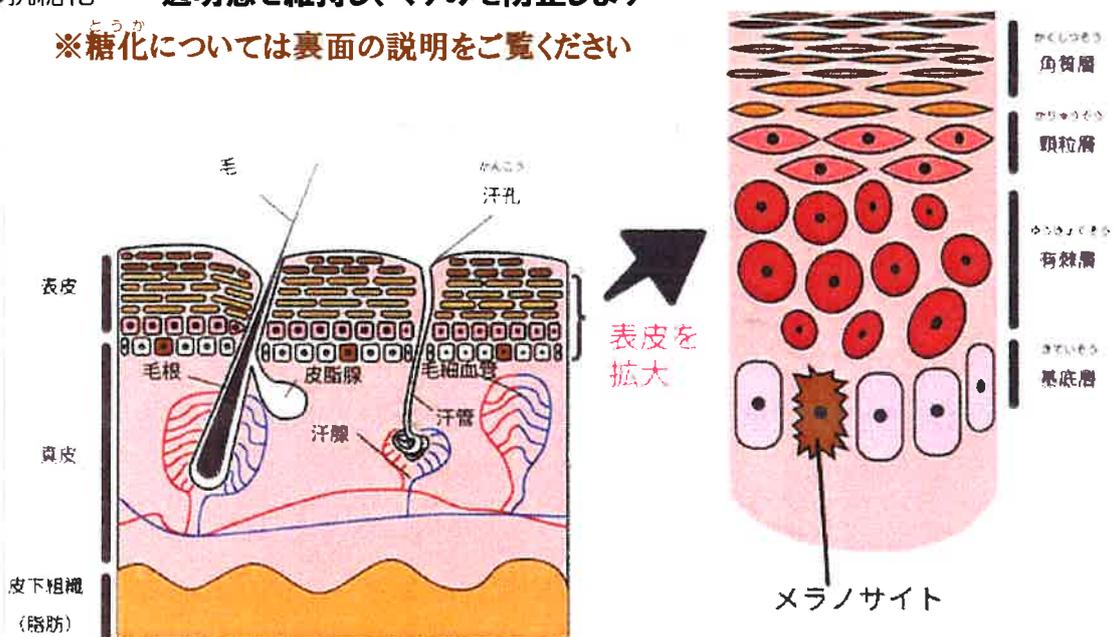


図1 皮膚の構造

【糖化】

今、老化を促進する要因として注目されているのが「糖化」。活性酸素による酸化が『体のサビ』と言われるのに対して、糖化は、『体のコゲ』とも呼ばれています。

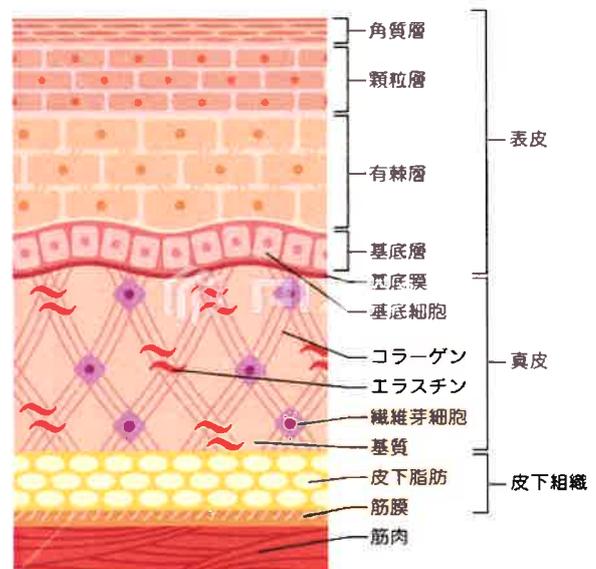
「糖化」とは、タンパク質や脂質が糖と結びついて、老化物質である[糖化最終生成物]を作り出す過程を言い、この[糖化最終生成物]を略して[エージーイー]と言い、「AGE」又は「AGEs」と書きます。

実は、ホットケーキを作るときに、こんがりと焼けて褐色になるのも糖化の一例で、ホットケーキの「砂糖」と卵や牛乳などの「タンパク質」が結合して変性しているのです。

カラメルやクッキーでも同じ現象が起きています。食物の糖化は、こんがりといい香りがする反応ですが、同じことが人間の体内で起きると、とんでもない現象を引き起こします。

肌のハリを保っているのは、真皮にあるコラーゲン繊維とエラスチン繊維です。この二つの繊維が網の目のように張り巡らされて、ベッドのスプリングのようになって肌に弾力性を持たせているのです。コラーゲンもエラスチンもたんぱく質の一種ですから当然糖化による影響が出てくるわけです。

これらの繊維は上下左右、自由に伸びたり縮んだり、もともと伸縮性に富んでいるのですが、AGEは繊維同士をお互にくっつけてしまい、正常の弾力性を失わせ、硬くもろくしてしまうのです。これによって、肌のハリが失われ、たるみやシワの原因になります。



又、糖化によって生み出された老廃物が皮膚の細胞に沈着すると、シミやくすみとなって肌の透明感が失われます。糖化によって生成されるAGEは褐色で硬いのが特徴ですが、AGEが肌に影響を与えると年齢より更に老けた印象となってしまいます。

また、表皮の弾力を保っているセラチン

繊維がAGEによって劣化され、縮縮シワの原因となるのです。これらの繊維は40歳を超えると代謝サイクルがゆっくりなため、糖化でできた老廃物や変性してしまった繊維が滞りがちなため、加速度的にたるみやシワが増大する恐れがありますので注意が必要です。

